

1. 千葉県の概要

1. 位置と面積

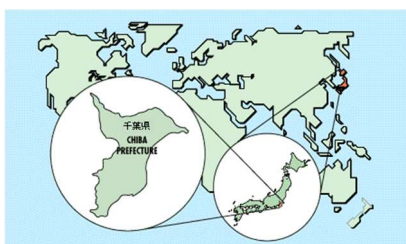
本県は本州の中央部東端に位置し、東西に狭く南北に長く外海に突出する半島（房総半島）であって、東及び南は太平洋に面し、西は一部東京湾に臨み他は江戸川を隔てて東京都及び埼玉県に、北は利根川を境に茨城県と接しています。これを経緯度によってみますと、東経 139 度 44 分から 140 度 52 分、北緯 34 度 53 分から 36 度 06 分に及んでいます。

なお、千葉市に所在する千葉県庁は、東経 140 度 07 分、北緯 35 度 36 分の地点にあり、県中央よりやや北に位置し、東京湾に臨んでいます。

四方を海と川に囲まれ、水と緑が織りなす豊かな自然に恵まれた県です。

その面積は、5,157 km²で全国 28 位の大きさで、国土の 1.36%を占めています。また、半島をめぐる海岸線は約 533.5 kmに及んでいます。（図－①－1）

図－①－1 千葉県の経度緯度



表－①－1 千葉県の経度緯度

	地名	経度または緯度
極東	銚子市君ヶ浜	東経 140° 52' 54' ′
極西	富津市第二海堡	東経 139° 44' 21' ′
極南	南房総市白浜町野島	北緯 34° 53' 53' ′
極北	野田市関宿三軒家	北緯 36° 06' 14' ′

資料：国土地理院「日本の東西南北端点の経度緯度」（令和 4（2022）年 1 月 13 日現在）

2. 地 形

本県の地形は、おおまかに南から北に向かって低くなっており、房総丘陵、下総台地、九十九里海岸低地、利根川低地、東京湾沿岸低地などからなり、半島南部に 200～300m級の丘陵地が連なり、北部におおむね平地が広がっています。

この平地が本県の 6 割を占めており、また、地表の標高が 100m 未満の地域が 8 割以上（県土の平均標高が 43m と全国一低い）を占めており、多様な土地利用の可能性が高い土地条件となっています。

3. 気 候

三方を海に囲まれた本県は、冬暖かく夏涼しい海洋性の温暖な気候です。

特に南房総沿岸は、沖合を流れる暖流（黒潮）の影響を受け、冬でもほとんど霜が降りません。

雨量は、夏季に多く、冬季は少ない気候となっています。

4. 人 口

（1）本県の人口

本県の人口は、令和 2 年（2020）国勢調査によると、令和 2 年（2020）10 月 1 日現在 6,284,480 人で全国人口の 5.0%を占め、埼玉県に次いで全国 6 位となっています。平成 27 年（2015）調査に比べて 61,814 人、1.0%増加しました。全国の増減率は 0.7%の減少で、千葉県は 5 番目の人口増加でした。（図－①－2）

人口密度は、1,218.5 人/km²で平成 27 年（2015）調査に比べて 12.0 人/km²増加しました。全国は 338.2 人/m²で千葉県は 6 番目に高くなっています。人口密度の最も高い市町村は浦安市で次いで、市川市、習志野市、松戸市、船橋市の順となっています。また、人口密度の最も低い市町村は、大多喜町で次いで、長南町、長柄町、鋸南町、南房総市の順となっています。



1. 千葉県の概要

(2) 人口の推移

長期的に見ると、本県の人口は、特に高度経済成長期に急増し、ピークの昭和45年(1912)は増減率24.6%となりましたが、近年は低い伸びで推移し、令和2年(2020)は1.0%の増加となっています。

(図-①-2)

る世帯の割合を全国と比較すると、全国は40.7%、千葉県は39.4%で1.3ポイント低くなっています。このうち一人暮らし高齢者(65歳以上の単独世帯)は299,889世帯で、平成27年(2015)調査に比べて34,575世帯、13.0%増加しています。

※：世帯員が全員年齢「不詳」の世帯を除く

(3) 本県の世帯数

本県の世帯数は、2,767,661世帯で、平成27年(2015)調査に比べて162,822世帯、6.3%増加しています。平成12年(2000)から人口の増加数より世帯の増加数が大きくなっています。

1世帯当たり人員は減少傾向が続いており、令和2年(2020)も平成27年(2015)調査に比べて0.12人減少し、1世帯当たり人員は、2.23人になりました。

一般世帯を家族類型別にみると、一人暮らし世帯(単独世帯)は1,003,440世帯で平成27年調査に比べて160,369世帯、19.0%増加しています。65歳以上の世帯員のいる世帯は1,090,448世帯で平成27年(2015)調査に比べて62,445世帯、6.1%増加しています。

一般世帯※に占める65歳以上の世帯員のい

(4) 本県の就業人口

令和2年(2020)の本県の就業人口は、2,862千人で総人口に占める割合は約46%となっています。

5. 産 業

(1) 農業

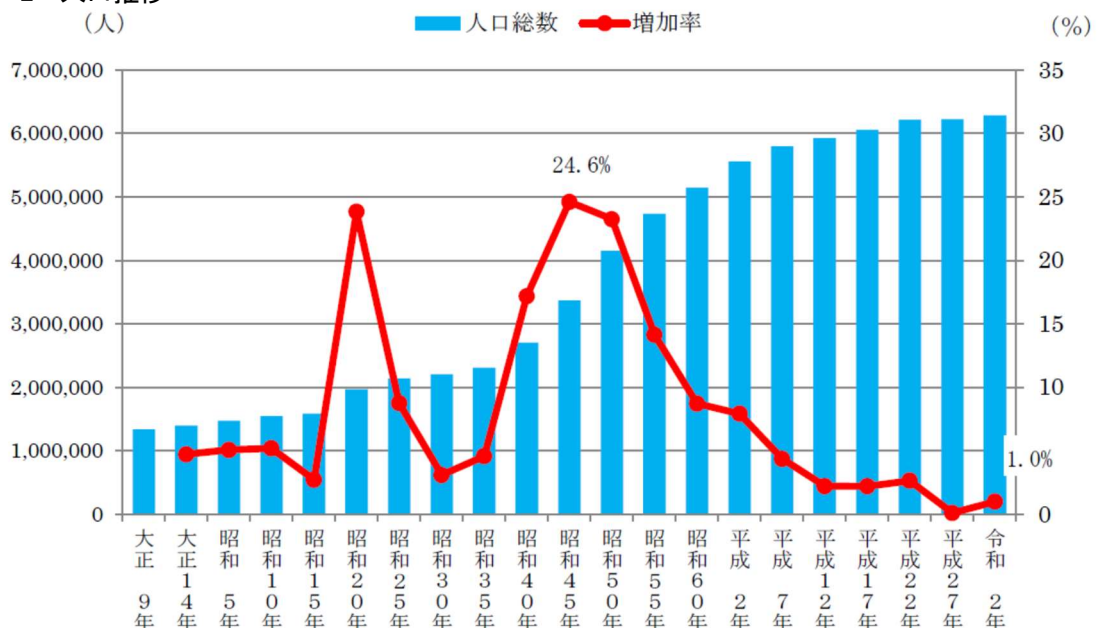
本県の令和3年(2021)の農業算出額は3,471億円(前年比381億円減)で全国第6位となっています。

生産農業所得は1,257億円(前年比36億円増)となり、全国第5位となりました。

本県は、首都圏の重要な食料供給基地の役割を担っています。

千葉県人口の推移(大正9年~令和2年)

図-①-2 人口推移
(人)



1. 千葉県の概要

(2) 工業

令和2年(2020)工業統計調査における本県工業の概要は、事業所数(従業者4人以上)は4,748事業所で、前年より0.1%の減少となりました。従業者数は206,017人で、前年より1.2%の減少となりました。製造品出荷額等は11兆9,264億円で、前年より4.7%の減少となりました。

付加価値額は3兆1,364億円で、前年に比べ0.8%の増加となりました。

投資総額(従業者30人以上)は6,356億円で前年に比べ21.3%の増加となりました。

(3) 商業

平成28年(2016)経済センサス活動調査における卸売業と小売業の事業所数は、47,017事業所、従業者数は432,698人であり、平成30年(2018)経済構造実態調査における年間商品販売額は12兆2,183億円となっています。

平成28年(2016)の事業所数は平成26年(2014)比べると1,349事業の減少(2.8%減)、従業員数は2,962人の増加(0.7%増)となっています。

また、平成30年(2018)の年間商品販売額は、前年に比べ614億円の減(0.5%減)となっています。

6. 土地利用

(1) 土地利用現況

「令和4年度(2022)土地利用現況把握調査」(調査時点:令和3年(2021)10月1日現在)の結果、県内の土地利用の現状は、森林が28.8%、農用地が23.8%、宅地等(宅地、道路、水面・河川、水路の合計)が27.1%であり、概ね森林・農用地・宅地等の面積値が均衡する状況となっています。また、土地利用の推移をみると、宅地等が増加傾向にある一方、森林・農用地が減少傾向にあります。これは、宅地開発の進展や耕作放棄地の増加などが影響しているものと考えられます。(図-①-3)

図-①-3 千葉県の土地利用現況の推移

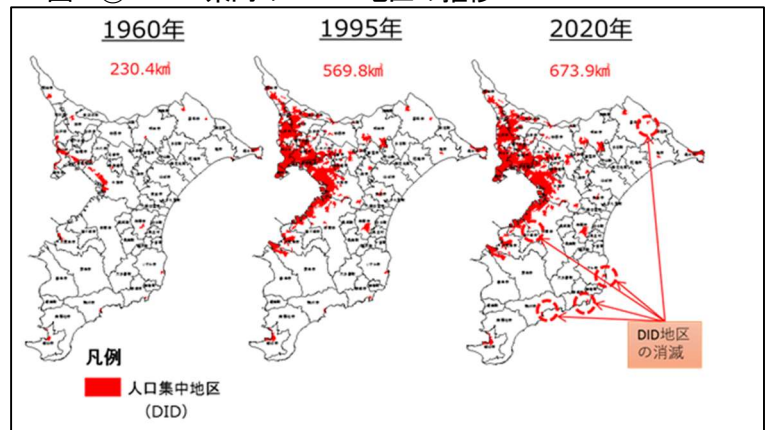


出典:土地利用現況把握調査(千葉県政策企画課)

(2) 人口集中地区

DID(人口集中地区)については、とりわけ、東京寄りの地域に分布しています。昭和35年(1960)からの60年間で人口集中地区の面積は3倍に増加している一方で、令和2年(2020)には、南房総、東総地区などで、人口集中地区が消滅した地区が出ています。(図-①-4)

図-①-4 県内のDID地区の推移



資料:国勢調査各年版、国土数値情報



1. 千葉県の概要

図一①-5 人口集中地区（令和2年）

